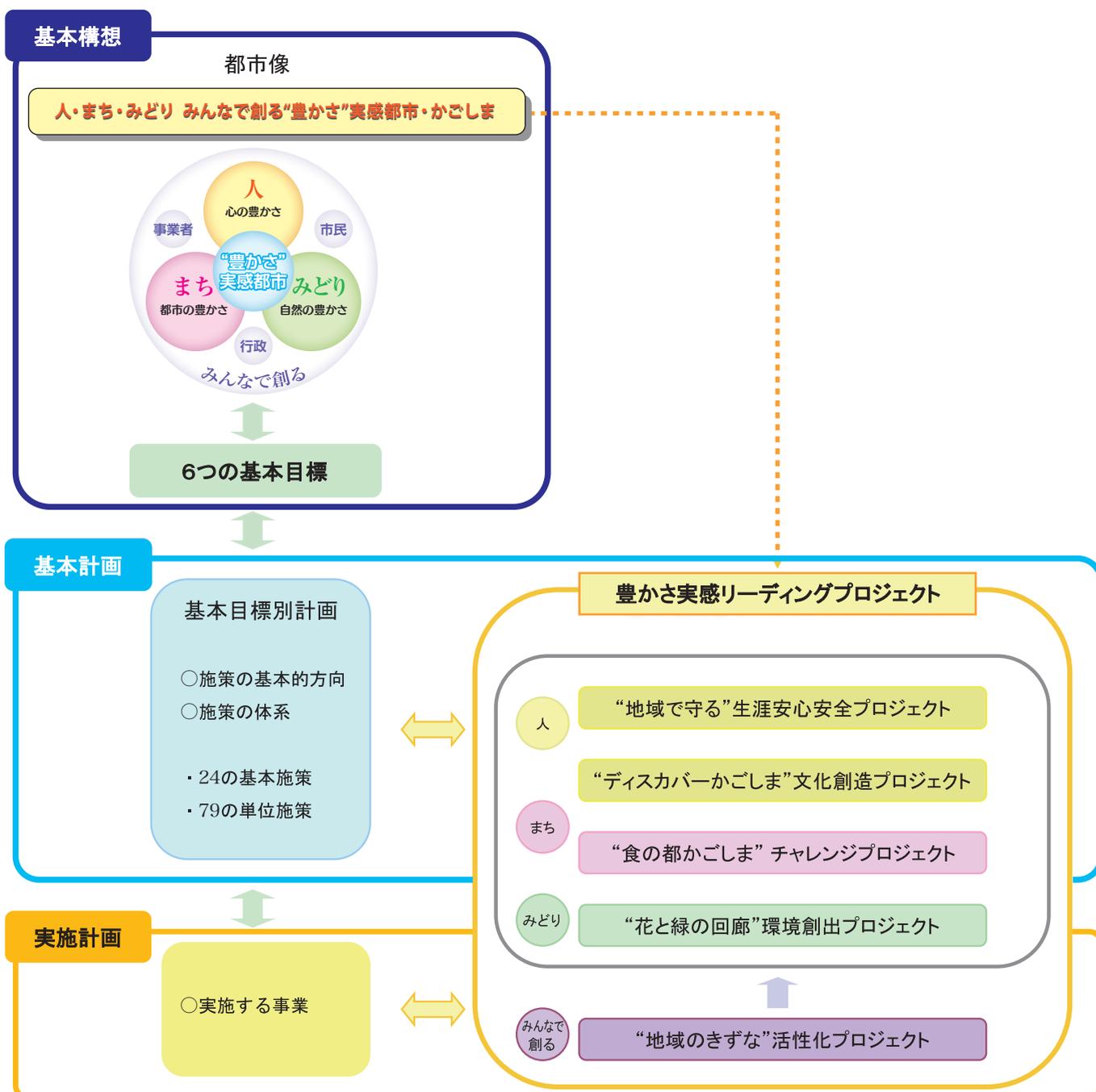


### **3 豊かさ実感リーディングプロジェクト**

### 3 豊かさ実感リーディングプロジェクト

- ◇基本構想に掲げた都市像は、6つの基本目標の達成、基本計画及び実施計画に掲げる基本・単位施策及び事業を展開することを通じて実現していくことが基本となるが、この施策・事業を展開していくにあたり、都市像に掲げる“豊かさ”～「人」、「まち」、「みどり」～を実現していく観点から、特に先導的かつ重点的に取り組むべきものを「豊かさ実感リーディングプロジェクト」として掲げる
- ◇「豊かさ実感リーディングプロジェクト」に掲げる施策・事業群は、基本計画中「基本目標別計画」及び「実施計画」に掲げる施策・事業の中に含まれるものであり、6つの基本目標を横断的に展開することを通して、基本目標の達成ひいては都市像の実現を一層推進していく役割を担うものである



# “地域で守る” 生涯安心安全プロジェクト

～世界基準の安心安全都市を目指します!～

目的と概要・協働連携体制

本市は、安心安全まちづくり条例に基づき、犯罪・事故・自然災害の未然防止に取り組んでいます。これらの取組に加え、事故やけがの原因を調査し、年齢層別、生活環境別に科学的な分析を行い、地域ごとの課題を抽出し、それに対して住民や関係団体、行政が協働して防止策の検討・実施を行う、セーフコミュニティの手法を導入した取組を行います。これにより地域の多様な人材や資源の活用・活性化を図り、鹿児島ならではの地域の特性を生かした対策を行うことで、安全性を高め、生涯にわたって安心安全に暮らせるまちづくりの推進を目指します。

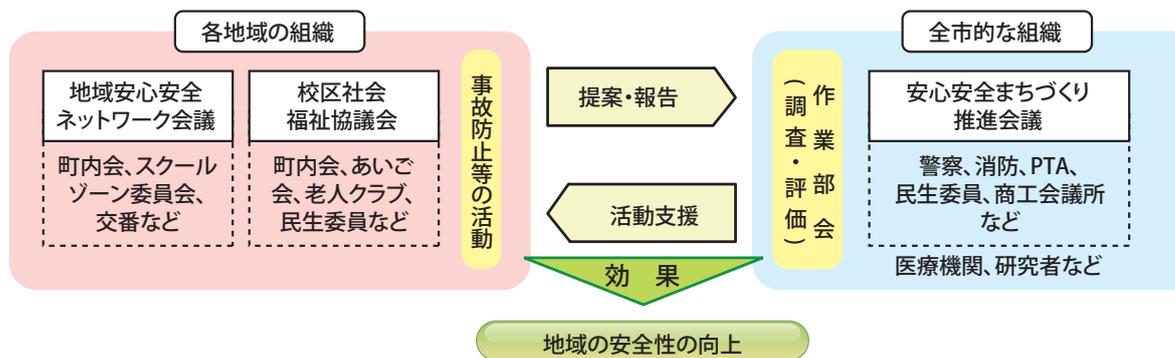
○ セーフコミュニティとは？

地域住民自らが関係団体や行政と連携して、事故やけがの防止に取り組む活動を行っている自治体を世界保健機関 (WHO) セーフコミュニティ認証センターが認証する制度のことで、京都府亀岡市など3市が認証を受けています。

○ 年齢層別・生活環境別に想定される事故やけが（例示）

分類		子ども	青少年	成年	高齢者
生活環境	家庭	風呂での溺水	やけど	火事	転倒
	学校・職場	学校での事故	学校での事故	職場での事故	作業中のけが
	余暇	公園でのけが	運動中のけが	レジャーの事故	レジャーの事故
	交通	登下校の事故	自転車の事故	車の事故	歩行中の事故
その他	暴力	児童虐待	非行	家庭内暴力 (DV)	高齢者虐待
	自殺	いじめ	いじめ	心の健康	心の健康

【プロジェクトのイメージ図】



みんなの役割

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇事故防止等に関する知識の習得に努めましょう。</li> <li>◇地域の一員として、安心安全向上のための取組に参画しましょう。</li> </ul>
地域・NPO等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇専門分野を生かし、地域の活動を先導しましょう。</li> <li>◇団体間の横断的な連携を図り、役割を分担しましょう。</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇専門分野の知識や能力を生かし、住民の力になりましょう。</li> <li>◇従業員に事故防止等に関する知識や技術を習得させましょう。</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇市民局、健康福祉局等が中心となり、官・民・地域一体となって進めます。</li> <li>◇国内外の都市との連携を通じて情報を収集し、地域へ提供します。</li> </ul>

推進スケジュール	H24	H25	H26	H27	H28
	子どもや高齢者等の事故発生状況を調査	←→			
	地域の安全診断、事故等の防止策の検討		市内各地域を巡回 ←→		
	事故等の防止活動の実施			モデル地域から段階的に開始 ←→	
セーフコミュニティの認証取得及び活動推進	認証取得宣言	セーフコミュニティの周知 ←→ 認証準備		認証取得(想定)	活動推進 ←→

実施する主な取組	①子どもや高齢者等の事故発生状況を調査	◇子どもや高齢者などの事故発生状況を、各種統計や市民アンケートなどにより調査し、年齢層別や生活環境別の傾向などを地域ごとに分析します。	市民局・健康福祉局・教育委員会
	②地域の安全診断、事故等の防止策の検討	◇各地域の組織と連携して、事故発生状況の調査結果等に基づき、地域ごとに課題を抽出し、事故等を防止するために必要な対策を検討します。	市民局・健康福祉局・教育委員会
	③事故等の防止活動の実施	◇事故等の防止活動を実施する体制が整った地域（モデル地域）から段階的に取組を進め、市域全体への展開を図ります。	市民局・健康福祉局・教育委員会
	④セーフコミュニティの認証取得及び活動推進	◇地域の安全診断や研修会等を通じてセーフコミュニティの手法による地域の安全性向上に関する意識の啓発を図るとともに、各地域における事故等の防止活動の実施状況を踏まえて認証取得に取り組みます。 ◇防止策の成果を評価し、評価結果に基づいた改善を行う体系的な仕組みをつくとともに、国内外の認証都市との連携を図り、より安全性を高める取組を進めます。	市民局・健康福祉局

目標指標	このようなまちを目指します！	地域の安心安全のための活動に関心を持っている市民の割合	現況 68.4%	→	目標(H28) 78.0%	算出方法等 市民意識アンケート調査
	主な指標	市内の交通事故による子どもの負傷率 (子ども1万人あたり)	21人	→	今後設定予定	県警統計
		市内の交通事故による高齢者の負傷率 (高齢者1万人あたり)	57人	→	今後設定予定	県警統計

# “ディスカバーかごしま” 文化創造プロジェクト

～みんなで地域文化を育み、地域の活性化につなげます!～

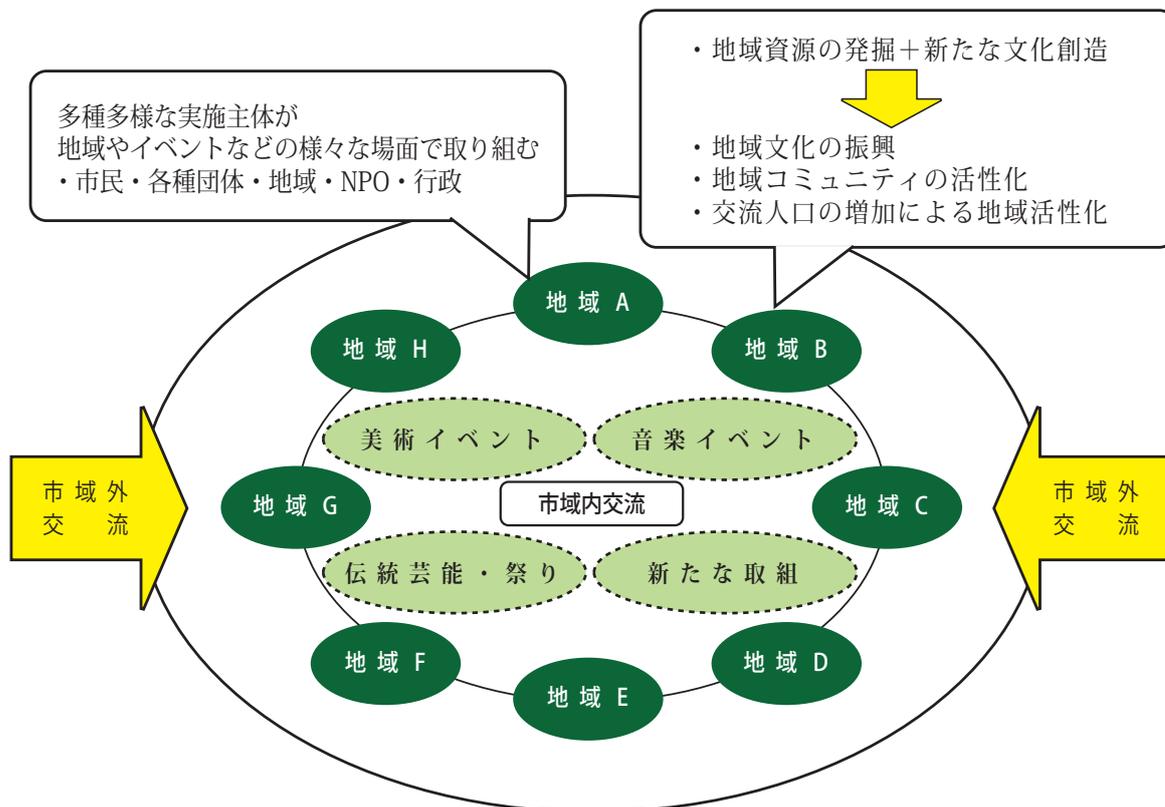
目的と概要・協働連携体制

都市化の進展や少子高齢化の進行により、これまで永年にわたって育まれてきた伝統芸能や祭り、風物詩を継承していくことが難しくなりつつあります。また、歴史のイメージが強い鹿児島ですが、美術や音楽にもゆかりの深い都市です。

こうした地域資源を掘り起こし、地域の人々はもとよりNPOやボランティア、事業者など市民みんなで地域文化を守り、育てるとともに、各地域で行われる取組に光を当て、“まち全体がステージ”のイメージで、分野別・季節別・地域別などさまざまな切り口で、県内外に情報発信を行うことなどにより、文化振興を通じた元気な地域づくり、人づくりを進めます。

- 伝統芸能や祭り、風物詩などの伝統文化・行事の振興
- 黒田清輝、藤島武二、松方幸次郎(松方コレクション：国立西洋美術館)などの出身地、吹奏楽発祥(薩摩藩軍楽隊)の地など、本市特性を生かした美術(アート)&音楽イベントの開催
- これらの取組に四季の変化、季節の風物詩などの自然の彩りを加えた、新たなイメージ戦略による「文化薫る“美のまち鹿児島”」の情報発信

【プロジェクトのイメージ図】



みんなの役割

市民	◇地域の一員として、地域文化に関心を持ち、活動しましょう。 ◇地域文化を振興し、保存・継承に努めましょう。
地域・NPO等	◇専門分野を生かし、地域文化活動を先導していきましょう。 ◇横断的な連携を図り、役割を分担しましょう。
事業者	◇自らも地域の一員として、地域文化に関心を持ち、それぞれの特性を生かしながら、住民とともに活動しましょう。
行政	◇教育委員会、経済局等が中心となって進めていきます。 ◇プロジェクトの取組について、支援を行うとともに、県内外へ情報発信を行います。

推進スケジュール		H24	H25	H26	H27	H28
	シンポジウムの開催	⇔ ◆シンポジウム開催				
	各種イベントの開催	⇔				
	各種イベントの開催	⇔ ◆鹿児島ゆかりの作家の展覧会開催				
新たなイメージ戦略の推進	⇔ 試行運用	⇔ 本格的運用+PDCA				

実施する主な取組	①シンポジウムの開催	◇平成23年度に策定予定の文化芸術や伝統芸能などを活用した地域の魅力づくりのためのプランに基づく取組を広報・啓発するため、シンポジウムを開催します。	教育委員会
	②音楽イベントの開催	◇吹奏楽発祥の地であることなどを踏まえ、各地域で音楽を楽しめるイベントの開催などを通じ、音楽でまちや暮らしを彩ります。	教育委員会
	③美術イベントの開催	◇鹿児島ゆかりの作家の展覧会の開催を検討するほか、本市の地域資源を生かした美術イベントの開催などを通じ、美のまち鹿児島をアピールします。	教育委員会
	④地域の伝統芸能やイベントなどの魅力アップや新たな取組の推進	◇地域の伝統芸能やイベントなどの魅力アップや地域ぐるみの参加の促進、地域の文化の掘り起こしを行うとともに、新たな取組を推進し、それぞれの地域資源を守り育てます。	市民局・経済局・建設局・教育委員会
	⑤上記①から④の取組をパッケージ化し、新たなイメージ戦略を推進	◇各地域での取組に、四季の変化、季節の風物詩などの自然の彩りを加えてパッケージ化し、新たなイメージ戦略により、県内外へ情報発信します。	市民局・経済局・建設局・教育委員会

目標指標	このようなまちを目指します!	「音楽、美術、伝統芸能等の文化振興を通じて、まちの魅力が高まっている」と感じる市民の割合	現況	→	目標(H28)	算出方法等
			32.3%		45.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	文化活動に参加している市民の割合		13.8%	→	20.0%	市民意識アンケート調査
	文化関連施設の利用者数		3,168,027人	→	3,500,000人	地域公民館や市民文化ホールなどの利用者数

# “食の都かごしま” チャレンジプロジェクト

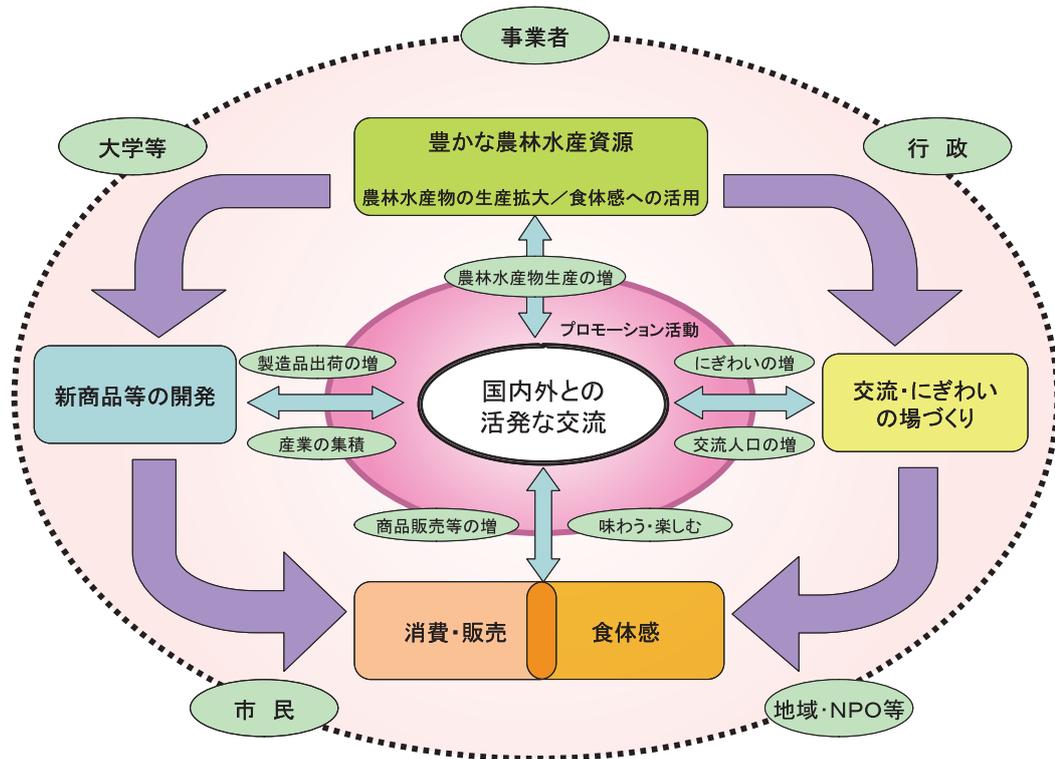
～みんなで「食」を通じた国内外との活発な交流を目指します!～

目的と概要・協働連携体制

鹿児島県の豊かな農林水産資源を活用し、生産から加工、流通、消費まで一体となった取組を進めるとともに、鹿児島県の歴史・文化・自然などの風土を感じながら、市民や観光客等に“美味のまち鹿児島”を体感し、楽しんでもらえるような演出を行うなど、「食」を通じて国内外と活発に交流する“食の都”としての総合的なブランド力の向上を図ることにより、にぎわいと活力あふれるかごしまを目指します。

- 日本有数の農業産出額を誇る鹿児島県の豊富な食材をさらに活用するため、新鮮で良質な農林水産物の生産拡大を図るとともに、農商工業者をはじめ産学官の多様な主体が連携する中で、新商品等を開発し、鹿児島県の「食」の魅力や市場における競争力の向上を図ります。
- 開発された新商品等の市域内における消費の拡大や国内外への積極的なPR等による販路拡大に取り組むとともに、食関連分野の新産業の創出や企業立地推進により、関連産業の集積を図ります。
- 市民や観光客等が「食」を生かして人や自然と触れ合う体験・交流型のグリーン・ツーリズムなどを推進するとともに、鹿児島県の“美味”を体感し、楽しんでもらえるような演出を行います。

【プロジェクトのイメージ図】



みんなの役割

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇鹿児島県の安全・安心な産品や商品に対する理解を深め、地産地消に努めましょう。</li> <li>◇鹿児島県の「食」の素晴らしさを市内外に広く伝えましょう。</li> </ul>
地域・NPO等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域が有する豊かな農林水産資源を活用し、事業者などさまざまな主体と連携しながら「食」を生かしたイベントの開催などに取り組みましょう。</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇競争力の高い特色ある農林水産物の生産に取り組みましょう。</li> <li>◇魅力ある新商品等の開発や積極的な販路拡大に取り組みましょう。</li> <li>◇飲食店等で鹿児島県の食材を積極的に活用し、食の魅力のPRに努めましょう。</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇経済局が中心となり、事業者や大学など産・学・地域等と連携しながら、みんなで一体となって進めます。</li> </ul>

推進スケジュール		H24	H25	H26	H27	H28
	プロジェクト策定 記念シンポジウムの開催	“食の都”の普及・啓発 ←→				
	広報ツールの作成 プロモーション活動	広報ツールの作成・戦略的なプロモーションの実施 ←→				
	新商品等の開発・販路 拡大、企業立地推進	事業者の新商品等開発や海外を含めた販路拡大の促進、企業立地推進 ←→				
	観光農業公園や農産物 直売施設等の活用	観光農業公園の開設 県茶業指導農場跡地（直売施設等）の整備 ←→				
「食」を生かした イベント等の開催	鹿児島島の“美味”を体感するイベント「薩摩美味維新」等の開催 ←→					

実施する主な取組	①農林水産物の生産 拡大	◇農業の新たな担い手の育成や特産農産物の生産振興を図ることなどにより、競争力の高い特色ある農林水産物の生産拡大に取り組みます。	経済局
	②新商品等の開発の 促進	◇産学官の多様な主体が連携し、豊かな農林水産資源等を活用して魅力ある新商品等の開発に取り組むとともに、食関連分野の企業立地推進等により、関連産業の集積を図ります。	経済局
	③交流・にぎわいの 場づくりの推進	◇観光農業公園や農産物直売所、中央卸売市場などを活用し、「食」を生かした市民・観光客等の交流やにぎわいの場づくりを推進します。	経済局・ 健康福祉局
	④「食」を体感する イベント等の開催	◇“食の都”の普及・啓発を図る記念シンポジウムの開催や、市民・観光客等が「食」を体感し、楽しめる場づくりのため、飲食店等と連携したイベントなどを開催します。	経済局
	⑤域内消費・販路 拡大の促進	◇地産地消や食育の推進などにより、市域内の消費を促進するとともに、鹿児島ブランドの商品価値の向上やプロモーション等の推進により、海外を含めた販路の拡大を促進します。	経済局・ 健康福祉局・ 教育委員会

目標指標	このような まちを目指 します!	「かごしまが“食の都”である」と感じる市民の割合	現況 66.0%	→	目標(H28) 75.0%	算出方法等 市民意識アンケート調査
	主な指標	食料品製造業における粗付 加価値額（従業者4人以上）	46,232 百万円	→	48,170 百万円	工業統計
市内の農産加工グループが 作った加工品数		86種	→	96種		

# “花と緑の回廊” 環境創出プロジェクト

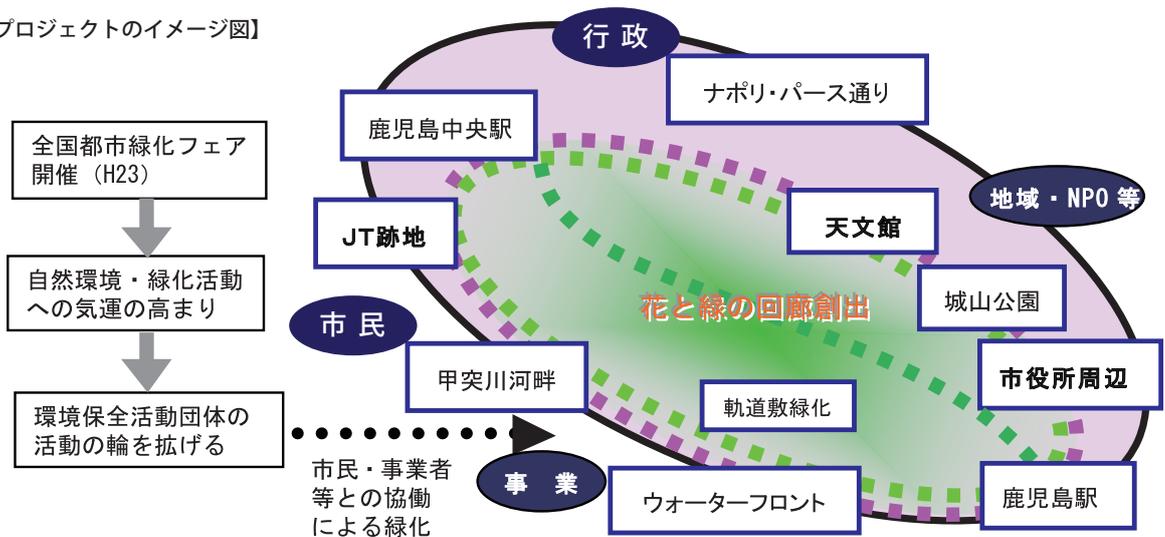
～環境を保全し、花と緑が彩るまちを創ります!～

目的と概要・協働連携体制

自然林の残る城山・多賀山などの深緑、甲突川から錦江湾に注ぐ水の流れ、これら豊かな緑と水とともに鹿児島島の風土は培われています。この美しい自然と人が共生する環境を保全する中で、既にある市電軌道敷の芝生や街路樹などの緑の道に加え、新たな魅力としてJT跡地、市役所周辺などに市民が憩える都市の杜(花緑拠点)を創るとともに、両地点間を結ぶ街なか(中心市街地)を花と緑が彩る回廊として演出し、回遊性を楽しめる都市空間を創出します。

- ヒートアイランド現象の緩和や都市の生態系の向上、地球温暖化対策等を図るため、城山公園の保全、街路樹や屋上・壁面緑化など連続した花と緑のネットワーク形成を市民、地域・NPO、事業者等と協働で進めていきます。
- 23年の都市緑化フェアの開催を1つの契機とし、街なかに市民が憩い、豊かさを感じることが出来る都市の杜(花緑拠点)を創るとともに、花や新緑、紅葉などの季節感を感じながら散策できる都市空間づくりを行います。
- また、市電の魅力活用やにぎわい創出につながるイベント等を開催するなど、花と緑の都市空間と一体的に楽しめる総合的な演出を行い、高速鉄道時代の核となる鹿児島中央駅からの回遊性を高めます。

【プロジェクトのイメージ図】



みんなの役割

市民	◇将来世代のために、できる範囲で環境保全活動に参加しましょう。 ◇花いっぱい運動を広げ、彩りのある花壇を充実させましょう。
地域・NPO等	◇専門分野を活かし、市民の地域活動等を先導しましょう。 ◇横断的な連携を図り、役割を分担しましょう。
事業者	◇地域の一員として、環境保全活動に取り組みましょう。 ◇地域・NPO等と役割分担しながら、協働して取り組みましょう。
行政	◇建設局、環境局等が中心となって進めていきます。 ◇市民、地域・NPO、事業者等の協働事業が進むように活動を支援していきます。

推進スケジュール		H24	H25	H26	H27	H28
	都市の杜の整備	天文館公園の再整備 ←→		JT跡地の緑地整備 ←→	市役所周辺の緑地整備 ←→	←→
	協働による緑化等の活動	緑化活動実施、にぎわい創出活動支援 ←→				
	環境保全活動のネットワーク構築	環境保全の活動を拡充 ←→				
	緑化等の活動支援	壁面緑化・屋上緑化支援、花いっぱい運動支援 ←→				
観光レトロ電車の運行	観光レトロ電車製作 ←→		観光レトロ電車運行 ←→			

実施する主な取組	①都市の杜づくり	◇JT跡地、市役所周辺などを市民が憩える都市の杜（花緑拠点）として、市民等が参画する中で、整備していきます。	建設局・ 企画財政局
	②花と緑の回廊づくり	◇市民、企業、地域・NPO等の緑化活動を支援し、それぞれが役割分担しながら、街なか（中心市街地）に花と緑の回廊を協働で創っていきます。	建設局・ 教育委員会
	③環境・ 景観保全活動	◇緑化活動への参加者、参加企業を集め、環境保全活動団体のネットワークを生かし、拡充することで活動の輪を上げます。また、環境保全（緑化）活動への支援を行います。	環境局・ 建設局
	④にぎわい創出活動	◇花と緑の回廊整備に合わせ、商店街等が行うにぎわい創出に向けたイベント等を支援します。	経済局
	⑤路面電車の魅力向上	◇観光レトロ電車を製作するとともに、花と緑の回廊と一体となって、多彩な路面電車を生かす取組を進めます。	交通局

目標指標	このようなまちを目指します！	「街なかに花と緑が充実している」と感じる市民の割合	現況 76.1%	→	目標(H28) 78.0%	算出方法等 市民意識アンケート調査
	主な指標	公園、街路樹等の環境保全活動に関心を持っている市民の割合	58.8%	→	60.0%	市民意識アンケート調査
		中心市街地における屋上・壁面緑化の整備面積	1,300 m <sup>2</sup>	→	2,000 m <sup>2</sup>	

# “地域のきずな” 活性化プロジェクト

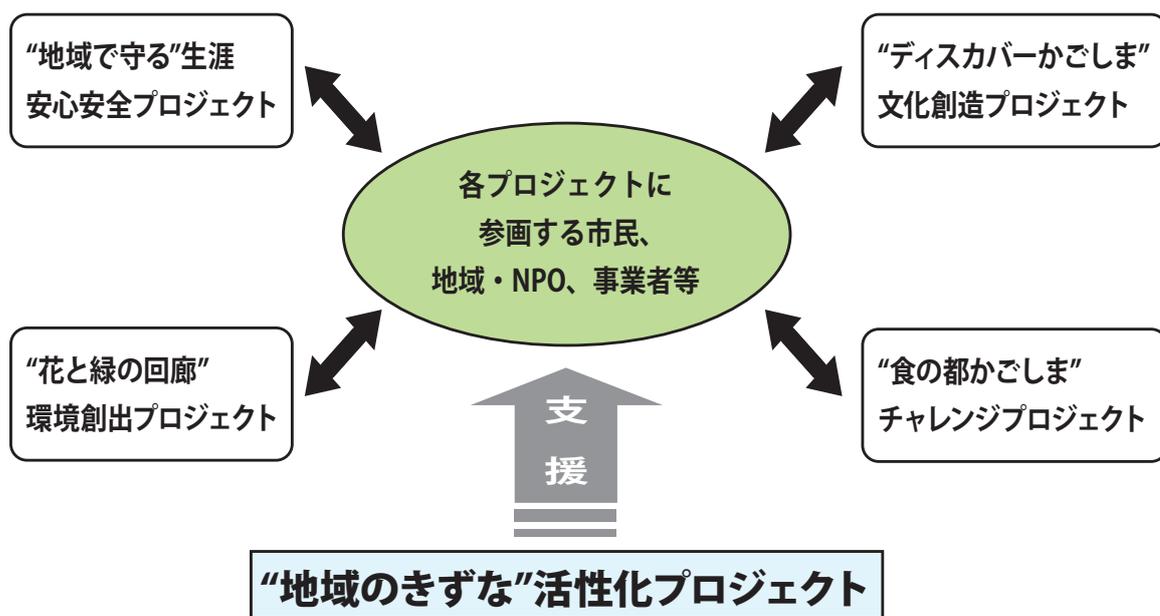
～市民が主役の協働のまちづくりを進めます!～

目的と概要・協働連携体制

各プロジェクトを効果的に実施するためには、行政、市民、地域・NPO、事業者などが協働で取り組んでいくことが求められており、多様な主体が協働しやすい環境づくりを総合的に進めます。

- 各プロジェクトのテーマに応じて、専門的な知識や技能を持った職員等を派遣するほか、協働の取組について市民の関心を高める“協働フォーラム”を開催することにより、協働意識を醸成します。
- 各プロジェクトに参画するNPOや企業等の発想を生かした事業提案を採用し、その活動を重点的に支援するほか、NPO間のネットワークづくりを支援することにより、協働事業の促進を図ります。
- 地域のきずなが活性化するよう、広く市民が参加し、さまざまな組織が連携する「地域コミュニティ連携組織」の立ち上げを支援し、コミュニティビジョンに掲げた方策の具体化を進め、活力ある地域コミュニティの実現を図ります。

【プロジェクトのイメージ図】



みんなの役割

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇各プロジェクトへの理解を深め、積極的に活動に参加しましょう。</li> <li>◇自分たちの暮らす地域は自分たちでつくるという意識を持ちましょう。</li> </ul>
地域・NPO等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇専門分野を生かし、各プロジェクトに参画しましょう。</li> <li>◇横断的な連携を図り、役割を分担しましょう。</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇専門分野を生かし、各プロジェクトに協力しましょう。</li> <li>◇横断的な連携を図り、役割を分担しましょう。</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇市民局、各プロジェクトの担当部局等が中心となって進めていきます。</li> </ul>

推進スケジュール		H24	H25	H26	H27	H28
	市政出前トークの実施	◆テーマ設定				
	協働フォーラムの開催			◆協働フォーラム開催		
	企画提案型まちづくりモデル事業の実施	初年度：募集・選定、翌年度：協働事業の実施				
	NPOネットワーク支援事業の実施	情報交換会開催（所管課・NPO）				
	地域コミュニティ連携組織の形成	H23～立ち上げ支援・地域別説明会開催				
	ポータルサイト*の開設・運用			ポータルサイトの開設・運用		
コミュニティ活動推進講座	H23～既存事業の拡充					

実施する主な取組	①協働意識の醸成	◇各プロジェクトに参画する団体等の要請に応じて、各テーマに関する専門的な知識や技能を持った職員等を派遣するほか、NPO等が協働・連携した事例の発表や、相互の交流を図る「協働フォーラム」を開催します。	市民局
	②協働事業の促進	◇各プロジェクトの内容に沿ったテーマについて、NPO等の特性を生かした企画提案を公募・選定し、協働で事業を実施するほか、NPO活動の活性化や活動基盤の強化を図るため、NPO間のネットワークづくりを支援します。	市民局
	③コミュニティビジョンの推進	◇本庁と各支所が連携と情報共有を図りながら、新たな地域コミュニティ連携組織の立ち上げを、運営・活動両面から支援します。また、コミュニティビジョンの地域別説明会を全市で開催し、ポータルサイトを開設・運用するとともに、地域での連携を推進・調整する人材を育成します。	市民局

目標指標	このようなまちを目指します！	市民や地域団体、NPO、事業者などが協力しながらまちづくりを進める“地域のきずな”を実感する市民の割合	現況 36.9%	→	目標(H28) 47.0%	算出方法等 市民意識アンケート調査
	主な指標	NPO 法人との協働事業数（委託、補助等）	31 件	→	45 件	
		地域コミュニティ連携組織数	0 団体	→	40 団体	

※ ポータルサイト

：インターネットに接続した際に最初にアクセスするウェブページ。関連する分野別に情報が整理され、リンク先が表示されている。